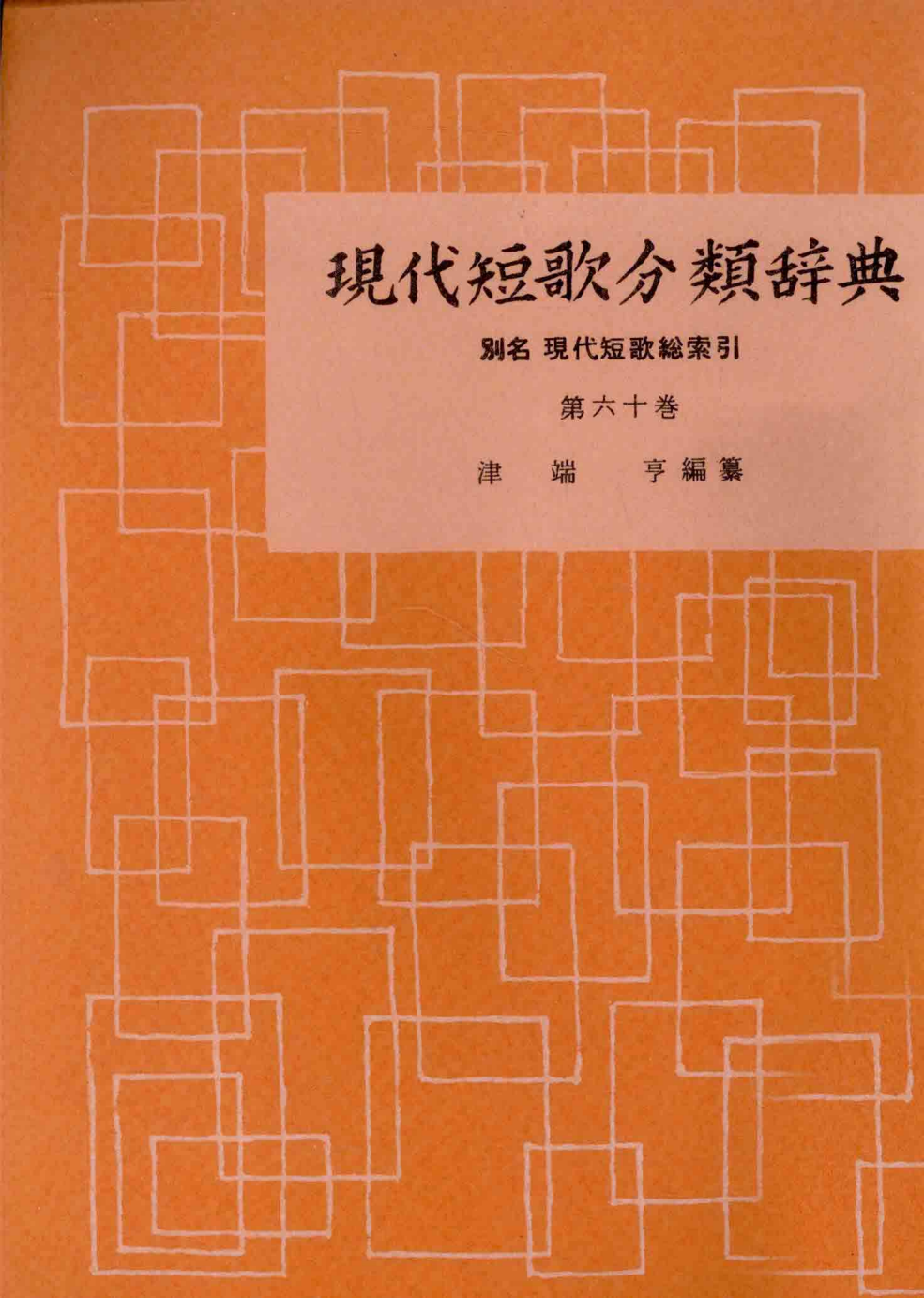




現代短歌分類辭典

別名 現代短歌總索引

第六十卷

津 端 亨 編纂

津 端 亨 編 纂

現代短歌分類辞典

第六十卷

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

昭和五十六年十二月二十日発行 定価一、八〇〇

著者発行
兼印刷者

津 端 亨

〒111

東京都台東区鳥越一―十一―八

発行所

現代短歌分類辞典刊行所

代表者 津 端 亨

振替 東京 三―九三一―四

電話 〇三―八五一―九八六九

青田つづき
青田づら
青蓼
青田中
青田中道
青田夏山
青田波
青谷
青谷川
青谷むら
青谷山
青田原
青田べ
青田べり
青玉
青玉いろ
青田まじり

一一 三三 一一 一一 九 一一 四 一一 一一 一一 四 二 一一 一一

〃 二八 〃 〃 〃 〃 二五 〃 二四 二三 〃 〃 〃 〃 二二 〃 〃 二〇

青田廻りす
青玉松
青田道
青だみて
青田向う
青田めぐり
青田夕風
青田往還
青丹
青田圃
青端溪
青茅
青茅萱
青ちく
青地錦
青千町田
青机掛

一一 一一 一一 一一 二 一一 一一 一一 一一 二 一一 一一 四 一一 一一

〃 三三 〃 〃 〃 〃 三一 〃 〃 〃 〃 三〇 〃 〃 〃 〃 二九 二八

青漬 青鳶 青葛 あをつはぶき 青つづら藤 青燕 あをつぼい 青薔 青露 青蔓 青電車 青砥 青戸 青蜥蜴 青利鎌 青毒 青木賊

三 一 一 八 一 五 一 三 一 二 二 一 一 一 二 五 一

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

青木賊原 青砥の山 青鳥 青澪 青とろむ 青泥色 青蜻蛉 青菜 青苗 あをな(青魚) 青なぎさ 青梨 青梨畑 青夏草 あをなづな(青薺) 青夏虫 青菜ども

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

青苗代
 青菜畑
 青菜畑
 青菜花草
 青菜まじり
 青波
 青浪がしら
 青並木
 青滑苔
 青菜ら
 青丹
 仰に
 青にがき
 青丹瓦
 あをにこぐさ（青柔草）
 あをにこり
 青にこり水

一 一 一 四 一 二 九 一 一 一 一 一八〇 一 一 二〇 五 一

" " " 七二 " 七一 " " " " 七〇 五五 " 五四 " " 五二

青虹
 青丹照る
 青庭
 あをにび（青鈍）
 青鈍色
 あをによし（青丹吉）
 青韭
 青ぬ（青峰）
 あをぬ（青沼）
 あをぬ（青野）
 青額
 青布
 青沼
 青塗
 あをね（青嶺）
 青根いでゆ
 あをねがだけ

一 一 一 二 二 二 一 二 二 一 一 六五 一 四 一 一 一

" 八七 " 八二 八一 " " " " 八〇 七九 七四 " " " " 七三

青葉垣根
 青葉がくり
 青葉がくれ
 青葉かげ
 青葉かげ道
 青葉かげり
 青葉風
 あを葉がちな
 青墓の村
 青葉楓
 青葉樹
 青葉くさし
 青葉曇
 青葉ぐもる
 青バケツ
 青葉こずゑ
 青葉小鳥

一 一 一 一 五 一 二四 一 一 一 二九 一 二三 二〇 二五 一四 一

二三八
 二四〇
 二四二
 二四四
 二四六
 二四九
 二五九
 二五一
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二
 二五二

青葉木群
 青葉ごもり
 青葉ごもる
 青葉木洩
 青櫨
 青山椒
 青葉しきって
 青葉繁葉
 青葉しげみ
 青葉繁山
 青葉下蔭
 青葉下道
 青葉雫
 あをばしして
 あをばしにけり
 あをばしぬらむ
 あをばしはてて

三 七 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

二五三
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四
 二五四

青葉繁山^{シミ}
 青葉城
 青葉城跡
 青葉城趾
 青葉す
 青蓮
 あをバス
 青蓮田
 青葉する
 あをばせーし
 あをばせーる
 あをばせーりーけり
 あをばせーる
 青葉空
 青旗
 青畑
 青膚

五 九 三 一 五 二 五 一 五 一 五 三 二 一 一 三 八

" " " 二六二 " " 二六一 " " 二六〇 " " 二五九 " " " " " 二五八

青畑うね
 青はたおり
 青葉高原
 青葉たけ
 青畑
 青肌山
 青葉路
 青葉木菟^ツ
 あをばつづき
 青葉照り
 青鳩
 青葉どき
 青葉とり
 青花
 青葉風
 青葉なす
 青葉なだり

一 一 二 二 一 二 一 六 一 三 四 一 一 一 一 一 一

" 二七一 " " 二七〇 二六九 " " 二六八 二六六 " 二六五 " " " " 二六四

あをばーなど	一	二七一	青羽蟲	二	二七四
青花びら	一	〃	青葉群葉	一	二七五
青葉並木	一	〃	青葉むら山	一	〃
青葉葉合	一	〃	あをばめーて	一	〃
青壇	一	〃	あをばめーり	一	〃
青葉庭	一	二七二	青葉靄	一	〃
青葉光	一	〃	青葉森	三	〃
青葉低枝	一	〃	青葉山	二〇	二七六
青葉白暮	一	〃	青葉山風	二	二七八
青蠅	二	〃	青葉山並	二	〃
青葉まじり	一	二七三	青葉山ひだ	一	〃
青葉窓	一	〃	青葉岡	一	〃
青葉道	八	〃	青原	一九	二七九
青葉みづ山	一	二七四	青バラソル	一	二八〇
あをばみーて	一	〃	青張莢実 さやみ	一	〃
あをばみーにーけり	一	〃	青葉六月	一	二八一
青ばむ	一	〃	青葉若草	一	〃

青袋 青房 青富士 蒼蓋 青淵 青葡萄 青太莖 をあふとりして 青表紙 青表皮 青絲瓜 青蛇 青遍羅 青便衣 青穂 青銚 青矛杉

一 七 一 一 一 二 五 一 一 一 一 一 一 一 一 一 二 七 二
 二九七 〃 二九八 〃 〃 〃 三〇八 〃 三〇九 〃 〃 〃 〃 〃 三二一 〃

青星 青骨 あをほほづき 青火むら 青堀 青真菰 青ます 青まゝず 蒼ませ あをませーて 青松 青松毬 青松かさ 青松葉 青松原 青松虫 青松山

二 一 三 一 一 二 三 六 一 一 一 三 二 二 一 一 一 一 二
 三二二 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

あをたかぜ【名詞】（青田風）

青田の上を吹いて来る風

青田風さむしと思ふくれてゆく富士に向へる窓をあけつつ

青田風すでに秋なり行き向ふ遠見が鼻は白雲の下⑥

青田風土に寝ころぶわが顔のまともに光をうちよするなり⑤

家が皆町るう立つてる青田風馬車に道よけては汗を入れてる

かなとこ雲崩れたる野の青田風をさまりて蒸す暑さのつじを①

豎川の茅場の庵は青田風時じくに吹く椎の若葉に⑥

あをたかの【名詞】（青高野）

鮮かにとところどころ灌木の茂り見えて照る青高野あゆみ飽かずも①

あをたかばやし【名詞】（青竹ばやし）

わが越ゆる伊豆山畠の夕かげになびきてさびし青竹ばやし④

あをたかぜ

山崎捷治

花田比露思

吉植庄亮

炭光任

荒木暢夫

島木赤彦

鈴木幸太郎

太田水穂

あをたかはら

あをたかはら【名詞】（青高原）

秋ぐもは北へうごきぬ蔵王より磯なだりたる青高原に⑨

斎藤茂吉

あをたかみね【名詞】（青高峰）

山脈の青高峰に入日照り今はわが行く路暗みたり⑨

窪田空穂

あをたかむら【名詞】（青篁）

しみ立てる青たかむらの奥にして藤つつじ咲ける草原もあり⑪⑦

川田順

谷あひの青竹群の奥深みひとところあたる日の光あり

川田順

梅雨そそぐ青竹群は下道に散り敷ける葉の朱色明るし④

初井しづ枝

露ながら青篁のなびく上にのぼる朝日は妻もあふげよ（新萬葉集四）

鈴木祐喜

時宗の廟のほとりの雲しぬぐ青竹むらに秋の日あたり⑫

金子薫園

夕さして荷かし心寄るおもひ青竹むらにともる灯の見ゆ（多磨一）

中村十鏡

あをたけやぶ【名詞】 青竹やぶ

青竹やぶ電車すぐれば窓ちかきその竹の葉のさやぐ聞ゆる②

ささやかなる寺へと登る坂みちは青竹藪に消えぬ雪あり⑪

しづかなる青竹藪のかげをゆきせせらぐ音す山川の水④

脊戸の青竹藪に伐りし竹わが手づくりの何にならんか③

街中に青竹藪のそよぎくかかるゆとりも心たのむなり（多磨三）

蒸寿司の熱きをおきて見たりけり風わたる庭の青竹藪を①（背振）

夕しぐれ音して過ぐる山裾は青竹やぶを持たぬ家なし（新萬葉集）

あをたかやま【名詞】（あを高山）

わが対ふあを高山の峯越しにけふもゆたかに白雲の湧く④

あをたかわら【名詞】（青高禪）

きざの夜の風に傾ける玉蜀黍の青高禪を伐りてたばねつ

あをたかんがい【名詞】（青田かんがい）

あをたかやま

森園 天 涙

川 田 順

太 田 水 穂

小 宮 良太郎

三 木 小 雨

中 島 哀 浪

丸 山 東 一

若 山 牧 水

島 木 赤 彦